

大規模災害時廃棄物対策 北海道ブロック協議会

第1回仮置場ワーキング 意見交換

令和6年11月26日(火)

環境省 北海道地方環境事務所
OYO 応用地質株式会社

本日の流れ

内容		目安時間
概要	仮置場WGの進め方	5分
話題提供①	仮置場の重要性と事例紹介	20分
自己紹介	グループ内で自己紹介	5分
説明	意見交換の進め方	5分
意見交換①	基本情報整理シートの説明とシートを用いた仮置場候補地の選定	30分
成果公表	各グループの意見・感想公表	15分
課題抽出①	仮置場基本情報のとりまとめ・類型化について	15分

1

概要

【WGの目的】

- 災害廃棄物の処理を円滑に進めるためには、仮置場の速やかな設置とその円滑な運営が大変重要です。
- 本WGは、仮置場の設置・運営について自治体、一部事務組合や広域連合、民間事業者それぞれの立場から意見を出し合い、検討することで、今後の災害廃棄物処理を通じた災害からの早期復旧を目的として開催するものです。

【WGの内容】

実施回	内容(予定)
第1回 令和6年11月26日(火) 13:30~	話題提供①: 仮置場の設置・運営に係る事例紹介 意見交換①: 仮置場候補地の選定状況 課題抽出①: 仮置場基本情報のとりまとめ・類型化
第2回 令和7年1月23日(木) 13:30~	話題提供②: 道外の仮置場候補地選定事例の紹介 意見交換②: 仮置場に関する課題解決の方策 意見交換③: 仮置場設置訓練についての意見交換

2

自己紹介

班内で自己紹介してください

- ✓ 所属
- ✓ お名前
- ✓ 被災地での経験の有無

⇒5分

この後、グループ別に切り替わります。
5分経ちましたら、全体画面に戻りますので、
自己紹介終了後、そのままお待ちください。

3

意見交換

【意見交換①：仮置場候補地の選定】

- 各市町村で選定している仮置場候補地から、話題提供内容も踏まえて1箇所以上選んでいただき、基本情報整理シートを作成してください。
- 仮置場候補地を選定されていない市町村は、できるだけ、検討予定地(ご担当者レベルで思い当たる用地)等について、基本情報整理シートを作成してください。
- 一部事務組合、(総合)振興局、事業者の方、検討予定地等がない市町村の方は、お送りしているサンプル候補地を基に基本情報シートを作成してください。

①各団体で基本情報整理シートに記入してください(可能な範囲で)。

⇒15分程度

【〇〇市町村】自治体情報シート ※記入例

表1 仮置場候補地の基本情報 (記入例)	
施設概要	
名称	〇〇運動公園
所在地	〇〇市〇〇町
所有区分	市有地
所有者	〇〇市
管理者(及び指定管理者)	〇〇市〇〇課
仮置可能面積、面積	仮置可能面積:グラウンド 約 10,000㎡、駐車場 約 5,000㎡
用途地域	なし
周辺の土地利用区分*	<input type="checkbox"/> 農地 <input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 原野等 <input type="checkbox"/> 水面 <input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 水路 <input checked="" type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 住宅地 <input type="checkbox"/> 工業用地 <input checked="" type="checkbox"/> その他の宅地 <input type="checkbox"/> その他(〇〇病院)
災害時の用途	災害時におけるヘリコプター発着予定地、林野火災時におけるヘリコプター発着予定地
土地の形状、舗装状況	グラウンド:土、駐車場:アスファルト いずれも長方形形状
付帯設備	グラウンド:照明、トイレ、水道、電力
緊急輸送道路までの距離	0.5km(国道〇〇号)、1km(〇〇自動車道)
出入口付近の道路状況	駐車場に面する東西道路は2車線 グラウンドに面する西側道路は狭路で大型車の通行は不可
災害想定結果	
地震	震度:5弱程度
浸水深	浸水:なし 洪水:0.5m以上 3m未満
土砂災害*	<input checked="" type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域が分布 <input type="checkbox"/> 土石流危険渓流が分布
その他特記事項	
*グラウンドはフェンスで囲まれており、照明、トイレが設置されている。水道、電力が確保できる。 西側道路から大型車の進入は不可。	
仮置場設置時の課題	
周辺に住宅、病院が立地しているため、生活環境保全上の対策を講じる必要がある ・洪水による浸水リスクがある ・土砂災害により、施設に通じる道路が通行不可となる可能性がある	

4

意見交換

【意見交換①：仮置場候補地の選定】

②班内で各団体から留意事項をチャット記入してください。

チャットに記入(コピーアンドペースト)する欄は、以下の3つです。

- 【〇〇市町村】
- ・「施設名称」
- ・「その他特記事項」
- ・「仮置場設置時の留意事項」

③口頭で説明、感想等コメントをお願いします。(その際、さしつかえなければ、作成いただいたシートを画面共有ください) ⇒全体で15分

【〇〇市町村】自治体情報シート ※記入例

表1 仮置場候補地の基本情報 (記入例)	
施設概要	
名称	〇〇運動公園
所在地	〇〇市〇〇町
所有区分	市有地
所有者	〇〇市
管理者(及び指定管理者)	〇〇市〇〇課
仮置可能面積、面積	仮置可能面積:グラウンド 約 10,000㎡、駐車場 約 5,000㎡
用途地域	なし
周辺の土地利用区分*	<input checked="" type="checkbox"/> 農地 <input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 原野等 <input type="checkbox"/> 水面 <input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 水路 <input checked="" type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 住宅地 <input type="checkbox"/> 工業用地 <input checked="" type="checkbox"/> その他の宅地 <input type="checkbox"/> その他(〇〇病院)
災害時の用途	災害時におけるヘリコプター発着予定地、林野火災時におけるヘリコプター発着予定地
土地の形状、舗装状況	グラウンド:土、駐車場:アスファルト いずれも長方形形状
付帯設備	グラウンド:照明、トイレ、水道、電力
緊急輸送道路までの距離	0.5km(国道〇〇号)、1km(〇〇自動車道)
出入口付近の道路状況	駐車場に面する東西道路は2車線 グラウンドに面する西側道路は狭路で大型車の通行は不可
災害想定結果	
地震	震度:5弱程度
浸水深	浸水:なし 洪水:0.5m以上 3m未満
土砂災害*	<input checked="" type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域が分布 <input type="checkbox"/> 土石流危険渓流が分布
その他特記事項	
*グラウンドはフェンスで囲まれており、照明、トイレが設置されている。水道、電力が確保できる。 西側道路から大型車の進入は不可。	
仮置場設置時の課題	
周辺に住宅、病院が立地しているため、生活環境保全上の対策を講じる必要がある ・洪水による浸水リスクがある ・土砂災害により、施設に通じる道路が通行不可となる可能性がある	

5

成果発表

6

仮置場基本情報のとりまとめ・類型化

■ 仮置場候補地の条件

より条件の良い仮置場を選定

⇒仮置場候補地を決める根拠とする

仮置場候補地の優先順位を決める

⇒優先順位を決めることで想定外の場合に備える

仮置場の設置や運営を想定し候補地の状況を把握する

⇒迅速な仮置場の設置を可能にする

【ポイント】

- ✓ 平時から仮置場を意識することにつながる
- ✓ 仮置場設置に必要な資材や検討事項を想定

7

仮置場基本情報のとりまとめ・類型化

■ 仮置場候補地の類型化

区分	選定例	想定される課題、対応等
立地	住宅地付近、郊外	住宅地付近：住民がアクセスしやすいが生活環境保全上の対応が必要 郊外：立地によっては住民が利用しづらく、勝手仮置場発生
アクセス	付近の道路状況、搬入口の幅員	2車線道路など、道路状況によっては渋滞対策が必要 片面通行となる場合は誘導員による入退場管理が必要
面積	自治体の状況に応じて選定	比較的広い面積を確保できる⇒箇所数を絞る 住宅地で広い面積を確保できない⇒小規模なものを複数
災害時用途	広大な土地はヘリポート、仮設住宅として使用される場合あり	危機管理部局との調整が必要 発災後他用途としての使用が終了した後使用できる場合も想定する
災害リスク	被害想定を予め確認	津波・洪水による浸水が想定される場所は望ましくないため、災害の種類によって複数候補地を選定

【ポイント】

- ✓ 自治体の実情に合った仮置場の規模、場所
- ✓ 優先する条件を整理